

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県 揖斐川町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
3	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和19年 4月 4日 下辻南清流発電所	令和19年 4月 4日 下辻南清流発電所	有
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
中部電力株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H26	H27	H28	H29	H30
水力発電	-	-	-	703	537
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	703	537

	F I T以外	F I T	合計
年間電灯電力量収入（千円）	-	21,389	21,389

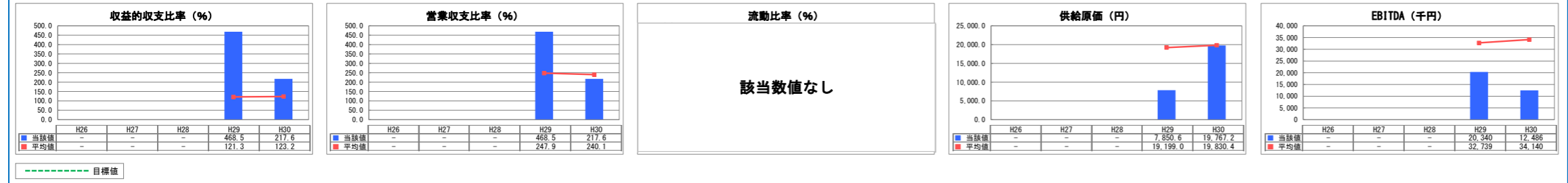
剰余金の用途について（具体的な使用実績事業を記入してください）

- 基金積立金
- 特別会計繰出金

分析欄

1. 経営の状況について
 （収益的収支比率及び営業収支比率）
 下辻南清流発電所、諸家清流発電所に引き続き、平成30年度からは名倉清流発電所が稼働したが、この名倉清流発電所について、想定どおりの売電収入を得られなかったことから、前年度値に比して減少した。
 平均値を下回っているものの、2指標とも100%以上となっており、経営の健全性は確保されている。
 （供給原価及びEBITDA）
 上記のとおり、名倉清流発電所について、想定どおりの売電収入を得られなかったことから、前年度値に比して大幅に増加した。
 名倉清流発電所の不調については、コンサルによる診断結果等も踏まえながら、改善に向けた検討を行っているところである。

1. 経営の状況



2. 経営のリスク

●施設全体

●発電型式別

施設全体	水力発電	ごみ発電	風力発電	太陽光発電
設備利用率（％）	31.6 / 30.2	31.6 / 57.6	該当数値なし	該当数値なし
修繕費比率（％）	0.0 / 11.8	0.0 / 8.7	該当数値なし	該当数値なし
企業債務高対料金収入比率（％）	0.0 / 136.0	0.0 / 394.9	該当数値なし	該当数値なし
有形固定資産減価償却率（％）	該当数値なし	該当数値なし	該当数値なし	該当数値なし
FIT収入割合（％）	100.0 / 87.3	100.0 / 94.7	該当数値なし	該当数値なし

※平成26年度から平成30年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債務高対料金収入比率、FIT収入割合については、平成30年度の団体数を基に平均値を算出しています。

2. 経営のリスクについて
 （設備利用率）
 発電型式別設備利用率が団体平均値を下回っている。これは、名倉清流発電所の発電機が長期間停止していたことに起因する。
 名倉清流発電所の不調については、コンサルによる診断結果等も踏まえながら、改善に向けた検討を行っているところである。
 （FIT収入割合）
 100.0%→ 固定価格買取制度調達期間内（20年間）で投資分を回収する。

全体総括
 （短期的課題）
 名倉清流発電所の不調を改善し、安定的な売電収入を得ることにより、安定経営に努める。
 （長期的課題）
 FIT調達期間終了後は、収入が減少するリスクが高いため、事業廃止や民営化等を検討する。